

- ### 主な内容
- ◆クリーンセンター次期中間処理施設整備事業・経緯から説明会の開催まで…2
 - ◆児童・生徒表彰…2
 - ◆市の放射性物質除線実施計画意見公募を開始します…3

大規模災害に備えて再確認

昨年の3月11日に発生した東日本大震災では、多くの人が亡くなられました。また、現在も避難所での生活を余儀なくされている人もいます。

市では、大規模災害発生後、速やかに避難所を開設し、避難されるみなさんと力を合わせて円滑な避難所運営ができるよう体制を整えていきますが、交通網の寸断などにより、公共機関が十分に対応できない可能性もあります。

自分の身は自分で守る(自助)、そして、**自分達の地域は自分たちで守る(共助)**。みなさんもいざという時に備え、普段から定期的に、家族で防災に

ついて話合う機会を持ち、避難場所の確認や非常持ち出し品などの準備をしておきましょう。また、地域で行われる防災訓練などにも積極的に参加し、災害に備えましょう。

災害に備えて準備しておくもの

大規模災害の発生直後は、救援物資が届くまでには3日かかるといわれています。

災害時に備えて準備しておくものは、家族構成を考えて必要数を用意し、非常持出品はリュックサックなどに入れて、避難時にすぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。



◆非常持出品
避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです(左図「非常持出品一覧」参照)。

災害用備蓄品

被災後の生活のために準備しておきたいものです。

- 食料：缶詰、レトルト食品、カップ麺、栄養補助食品など。
- 水：一人1日3ℓを目安に3日分の備蓄を。ペットボトル、ポリタンクへの汲み水のほか、風呂の水を次に入るまで残しておく習慣をつけると、生活用水として利用できます。

●生活用品：カセットコンロと予備のガスボンベ、毛布、衣類、洗面用具、マスク、トイレットペーパー、使い捨てカイロ、キッチン用ラップなど。

●工具類：家屋が倒壊した場合などに備えて、救出活動に使えるスコップやバール、のこぎり、車のジャッキなどを用意しておくこと役立ちます。

大規模災害発生時帰宅時にはこんな点に注意!

職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるときに、大規模な災害が発生すると、自宅に帰ることが困難になる人が多数発生することが予想されます。

非常持出品一覧



▲懐中電灯：できれば1人に1つを用意。予備の電池と電球もあわせて準備。

▶携帯ラジオ：小型で軽く、AM・FM両方を聞けるものを用意。予備電池も多めに準備。



▲現金・貴重品：現金は、公衆電話の利用も考慮して10円硬貨も用意。貴重品は、預金通帳、印鑑、健康保険証、免許証のコピー、権利証書など。



▲救急医薬品：消毒薬、包帯、ばんそうこう、かぜ薬、解熱剤、胃腸薬など。常備薬があれば、必ず準備。



▶非常食・飲料水：調理の不要な缶詰、乾パンなど3日分を用意。水はペットボトルで準備。乳幼児がいる場合には粉ミルクなども準備。



◀ヘルメット・軍手・タオル・着替え(上着・下着)：一人ひとりに用意。着替えの衣類は、長袖・長ズボンを準備。



そのほか：ライター(マッチ)、ろうそく、ナイフ、缶切り、ビニール袋、ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニールシート、生理用品。乳幼児や高齢者がいる場合は、ほ乳瓶、紙おむつなども準備しておくくと便利だよ!

- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食糧などを用意しておきましょう。
- 「安全な徒歩帰宅のために」携帯ラジオや地図を持ち歩きましょう。
- 最優先に行動しましょう。
- 周囲の状況に応じて、安全を確保しましょう。
- 家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通機関の情報や道路の被害状況などを入力しましょう。
- 慌てて移動を開始するのはやめましょう。
- 家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通機関の情報や道路の被害状況などを入力しましょう。
- 周囲の状況に応じて、安全を確保しましょう。
- 慌てて移動を開始するのはやめましょう。
- 家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通機関の情報や道路の被害状況などを入力しましょう。
- 周囲の状況に応じて、安全を確保しましょう。
- 慌てて移動を開始するのはやめましょう。
- 家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通機関の情報や道路の被害状況などを入力しましょう。
- 周囲の状況に応じて、安全を確保しましょう。

緊急速報メールで災害時の緊急情報を配信

市では平成23年6月6日から、災害時の緊急情報を一斉配信するNTTドコモの「エリアメール」を導入しておりますが、新たにソフトバンク、auが同様のサービス「緊急速報メール」の配信サービスを開始したことを受けて、ソフトバンクが平成24年1月30日、auは1月31日から、「緊急速報メール」を活用した災害・避難情報の配信を開始いたしました。

「緊急速報メール」「エリアメール」の概要・特徴

「緊急速報メール」は、ソフトバンクモバイル(株)およびKDDI(株)、「エリアメール」は、NTTドコモの携帯電話向けの災害情報伝達手段で、市内で利用されている携帯電話(対応機種に限る)に、情報を配信するシステムです。

- ① 通信料、月額使用料、情報料を含めて、無料で受信できます。
- ② 緊急速報メール・エリアメールは、メールアドレスを用いずに配信エリア内の対応携帯電話へ配信する仕組みのため、登録は不要で、仕事や買い物で印西市を訪れた人も受信できます。
- ③ 「緊急速報メール」「エリアメール」は、圏外(電波が不安定な場合)通話中の場合は受信できません。また、いずれの場合も受信できなかったメッセージについては、問い合わせなどで取得することもできません。
- ④ 対応機種や受信設定の詳細につきましては、それぞれの携帯電話会社の窓口またはホームページでご確認ください。

市民ふれあい懇談会 地区型懇談会を開催します

「市民ふれあい懇談会」は、市長が直接市民のみなさんと対話し、みなさんの豊富な経験と知恵を活かした建設的な意見・提案などを市政に反映させ、市民参加の拡大を図りながら、「住みよいまち」をつくるのが目的です。

この度開催する「地区型懇談会」は、市内各地区へ市長が自ら出向き、「平成24年度事業・予算」をテーマに行う懇談会です。今回は下記の日程で開催します。

●秘書広報課広報聴班(☎内線418・419)。

●市民ふれあい懇談会の日程●

会場	日程	時間
ふれあい文化館	3/24(土)	いずれも 午後3時~ 5時
本笠保健センター	3/25(日)	
ふれあいセンターいんば	4/7(土)	
本笠ファミリア館	4/8(日)	
中央公民館	4/14(土)	
中央駅前地域交流館	4/15(日)	
小林コミュニティプラザ	4/21(土)	
平賀構造改善センター	4/22(日)	

※千葉県や九都県市ではコンビニやガソリンスタンドなど徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供して頂きます。

☎内線451(454)。